

弓道コーチ1の資格取得について

弓道コーチ1の認定には、専門科目と共通科目の取得が必要になります。

専門科目と共通科目をそれぞれ終了し、日本スポーツ協会に申請することでコーチ1を取得することができます。(地方委員となるには、コーチ1を取得していることが条件です。年齢により免除されることがあります)

【専門科目】

各講習会(※1)を受講された方で専門科目の免除(※2)を希望される方は、レポートの提出と免除手数料が必要となります。

(レポート)

条件1：錬士取得後4年以上の者(教士・範士取得者含)

条件2：五段取得後4年以上の者

※経過年数は本人の取得日から令和7年3月31日までの期間とします

令和6年度課題

条件1対象：指導者として自身のあるべき姿勢や心構えについてどう考えているか述べて

条件2対象：弓道が人々に持続的に愛好されるのはなぜか述べて

課題試験(レポート)について

必ず様式5の【課題試験用原稿用紙】(400字詰原稿用紙)を活用の上、4枚以上お書きください。パソコンで作成頂きましても結構です。参考文献を使用した場合は、末尾に必ず明記してください。

指定講習会に参加・レポート・免除手数料(手数料：15,100円)をそろえて地連経由で申請することで令和7年4月に専門科目免除修了証が全弓連より交付されます。

※1 連合会が主催する指導者講習会

支部長・称号者講習会(今年度は7/21開催)

※2 専門科目は、本来40時間の講習とテスト合格が必要であるが、上記講習会を受講することで専門科目が免除となる

公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度公認弓道コーチI専門科目免除

事務手続きマニュアル令和6年度版からの抜粋です。詳しくは、マニュアルをご確認ください。

地区の締切：令和7年2月2日(日)

レポートの送付先：東京都弓道連盟第一地区

事務局 永松 E-mail tokyo-1@kyudo.jp

手数料の振込先：郵便振替 00150-5-316111 東京第一弓連

【共通科目Ⅰ】

共通科目はスポーツコーチングリーダー（旧コーチングアシスタント、スポーツリーダー）養成講座を受講する必要があります。

スポーツコーチングリーダー養成講座

令和6年度第2コースの申込期間：10月1日～12月9日

受講期間：受講費用納入後～令和7年1月19日

共通科目Ⅰ：45時間となっております。

オンライン受講手引き等ご確認の上各自お申込みください

JSPO HP <https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid58.html#scl>

オンライン受講手引き

https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/ikusei/doc/SCL/SCL_online_tebiki.pdf

指導者マイページ利用方法について

https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/ikusei/doc/SCL/SCL_online_mypagemanual.pdf

スポーツコーチングリーダーは単体の資格としても受講可能です（年2回）

共通科目は15,400円

共通科目はリファレンスブックが必要になりますので、

電子版：2,640円 紙版：4,840円がプラスになります

登録料10,000円と初回手数料3,300円も必要です

専門科目免除修了証取得、スポーツコーチングリーダー養成講座修了の両方がそろって申請するとその日程により登録日が決まります。

5月31日までに免除申請手続きがされる場合：10月1日登録

11月30日までに免除申請手続きがされる場合：4月1日登録